



- P2 平成30年度予算ピックアップ
- P3 賛否一覧
- P4～13 一般質問で町政を問う
- P14 常任委員会活動
- P15 新人議員研修、視察来町
- P16 最近の議員活動、杵藤地区議員研修会
- P17 議会出前講座のお知らせ
- P18 要望書、編集後記

平成30年

3

月議会

第53号

議会だより

■標題は福富小学校6年
藤武想未（ふじたけのぞみ）さんの作品です



■表紙は福田保育園 川崎 紅(こう)君・5歳の作品です。テーマ「春」

新年度一般会計予算 **139億8,800万円** (前年比 1%増)

3月定例議会 25議案を可決 (条例5件、人事2件、予算12件ほか)
追加議案として提案された「道の駅しろいし建築工事請負契約」についても可決

3月定例議会は、6日から19日までの14日間で開催された。町長から平成30年度の町政運営施政方針が示され、追加議案を含めて25の議案が提案された。議案については、常任委員会部門ごと慎重に審議を行い、全議案が可決された。

一般質問は10人が行い、道の駅や町の行政経営などについて執行部と議論を交わした。

また、議員発議として議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正案が提案され可決されました。この条例は、定例会などの会議を長期欠席した議員の報酬を減額する制度を導入するものです。平成30年4月から施行されます。

新年度予算
ピックアップ

◆子どもの貧困対策費(253万円)

貧困の状況にある子ども等の実態把握と支援ニーズの調査を行い、子どもの貧困対策検討委員会を設置し、有効な支援の検討を行う。



◆地域づくり協議会設置支援事業 (361万円)

これからは、行政主導ではなく地域住民が主体となった新しい地域の体制づくりが必要となっている。地域が主体となり課題解決に取り組むためのノウハウの習得と人材確保の支援を行い、住民と行政の協働体制の確立を目指す。

◆トレーニングファーム整備推進事業 (1億1,185万円)

トレーニングファームとして研修用ハウスを建設し、全国から募集した新規就農希望者に対し栽培技術や経営ノウハウを習得させる。農業の担い手確保と定住人口の増加を目指す。

◆道の駅施設整備事業 (10億7,344万円)

「道の駅しろいし」の平成31年春のオープンを目指し、施設の建築工事と運営組織への支援を行う。

◆国民健康保険事業(特別会計)(33億8,700万円)

被保険者の疾病、負傷に関しての医療機関等への保険給付、人間ドッグ・脳ドッグの実施、特定健康診査の実施、出産育児一時金の支給などに係る費用

賛否一覽

議案審議

賛成 …… ○ 反対 …… ● 欠席 …… 欠

	議案番号	議案	結果	友田香将雄	重富邦夫	中村秀子	定松弘介	川崎一平	前田弘次郎	溝口誠	大串武次	吉岡英允	片淵彰	草場祥則	井崎好信	内野さよ子	西山清則	溝上良夫
3月定例会	1	専決処分の承認(平成29年度一般会計補正予算(第5号))	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2	地域福祉基金条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3	国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	4	国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5	後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6	学校給食センター設置条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7	平成28年度(繰越)緊急放送端末機設置工事請負契約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8	老人福祉センターの指定管理者の指定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	9	土地改良事業の計画変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	10	人権擁護委員候補者の推薦(石橋京子 氏)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	11	人権擁護委員候補者の推薦(草場加代子 氏)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	12	平成29年度一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	13	平成29年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	14	平成29年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	15	平成29年度農業集落排水特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	16	平成29年度特定環境保全公共下水道特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	17	平成29年度水道事業会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	18	平成30年度一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	19	平成30年度国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	20	平成30年度後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	21	平成30年度農業集落排水特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	22	平成30年度特定環境保全公共下水道特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	23	平成30年度水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	24	平成29年度道の駅しろいし造成工事請負契約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	25	道の駅しろいし建築工事請負契約	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長は賛否の意思表示をすることはできません。



●平成30年度一般会計予算の採決

平成30年3月議会定例会には、
3月7日↓8人
3月8日↓11人の
傍聴者にお越しいただきました。
皆さんの傍聴をお待ちして
います！



川崎一平 議員

問 町内学校の統廃合についての考えは

答 様々な点に留意して考える

議員 以前は統廃合

については「今の段階ではまだ考えていない」という答弁であったが最近では視野に入れないが検討していくように感じられるが、どのように考えているのか。

学校教育課長

少人数であることで多人数より行事の規模が小さくなり競争や所属感また感動・感激などを伴う教育活動の展開が難しくなっ

ている。

更に教員の配置も少なくなりＴ・Ｔ（ティームティーチング）等の指導ができなくなる面もあり教育の機会均等の保障・維持が出来なくなってきた。

これらの課題に対し、考えるところである。

議員 一度に町内の

学校を統合するのではなく、既存の校舎を使いモデル校を作って早急な対応をできないか。

また、クラス再編に伴う人数的な問題点はないか。

学校教育課長 クラ

ス編成は40人までは1学級となっている。また、町単独で教員を雇用すれば40人以下で2クラスもできない

ことはないが、人件費の負担、雇用の保障など問題も出てくる。

議員 これらの点を

踏まえてどのように検討していくのか。

教育長 学校が小さ

くても細やかに丁寧に関わっていくということもできるが課題もある。色々御意見を広くいただいて検討していく。

問 沿岸道路工事遅れのもたらす影響は

答 道の駅の来客数減少を見込んでいる

議員 豊富インター開

通遅れにより道の駅に与える影響についてどう予測するのか。

産業創生課長

インターの開通によつて道の駅を利用するお客様増加を見込んでいたが、しばらくは期待できないと考える。道の



●食育推進事業の酪農体験

議員 豊富インター開

駅自体を目指していただけるような集客法が課題である。

議員 豊富鹿島区間

は更に軟弱地盤になり田園地帯に入ってくる。盛り土による工法では法面の雑草問題などを回避できないのではないかと。つい

ては、橋脚による工法が望ましいのではないかと。

町長 豊富鹿島区間

は、まだ白紙の状態だと思っている。作る側ではないので今はつきりとは言えないが、地元として検討をお願いしたいかなければならないと考えている。

問 タブレットの導入時期は

答 会議等における
タブレット利用は検討する

議員 事務のペーパーレス化に向けた

現在までの取組は。

総務課長 役場内の

通知文書、会議室及び公用車の使用申請

などは、庁舎内の情報ネットワークで稼働するグループウェアを活用し基本的にペーパーレス化している。企画財政課での各部署の予算査定は、昨年度から各部署から提示された百

数十ページになる予算

関連の資料を印刷せず、全て電子データ化し、ノート型パソコンを使用して業務を行っている。

住民説明会などでは、プロジェクターを利用し、スクリーン投影によるペーパーレス化がかなり浸透してきている。今後、一層のペーパーレス化を推進していく上では、紙の利便性を考慮しつつ、

は、プロジェクターを利用し、スクリーン投影によるペーパーレス化がかなり浸透してきている。今後、一層のペーパーレス化を推進していく上では、紙の利便性を考慮しつつ、

は、プロジェクターを利用し、スクリーン投影によるペーパーレス化がかなり浸透してきている。今後、一層のペーパーレス化を推進していく上では、紙の利便性を考慮しつつ、

は、プロジェクターを利用し、スクリーン投影によるペーパーレス化がかなり浸透してきている。今後、一層のペーパーレス化を推進していく上では、紙の利便性を考慮しつつ、

は、プロジェクターを利用し、スクリーン投影によるペーパーレス化がかなり浸透してきている。今後、一層のペーパーレス化を推進していく上では、紙の利便性を考慮しつつ、

は、プロジェクターを利用し、スクリーン投影によるペーパーレス化がかなり浸透してきている。今後、一層のペーパーレス化を推進していく上では、紙の利便性を考慮しつつ、

どれだけ削減できるかが課題と考えている。

議員 効率的な行政

経営を行っていくうえで、自治体の会議において早急にタブレットを活用していく必要があると考えられるが。

総務課長 行財政改革の一つとして、「ペーパーレス化」と業務への「タブレット利用」については、総務省や厚生労働省を中心として現在進められていく「働き方改革」への取組のひとつと考えられる。しかし、タブレット導入に関しては、ペーパーレス化する会議の範囲や対象者などのルール作り、ペーパーレス化を前提とした資料作成や操作方法などの研修が必要である。費用面は、利用する会議の範囲

や、対象者によって導入するタブレットや専用ソフトの導入費、情報漏えい、改ざん、不正使用などへの対策が必要。

や、対象者によって導入するタブレットや専用ソフトの導入費、情報漏えい、改ざん、不正使用などへの対策が必要。

や、対象者によって導入するタブレットや専用ソフトの導入費、情報漏えい、改ざん、不正使用などへの対策が必要。

や、対象者によって導入するタブレットや専用ソフトの導入費、情報漏えい、改ざん、不正使用などへの対策が必要。

や、対象者によって導入するタブレットや専用ソフトの導入費、情報漏えい、改ざん、不正使用などへの対策が必要。

や、対象者によって導入するタブレットや専用ソフトの導入費、情報漏えい、改ざん、不正使用などへの対策が必要。

や、対象者によって導入するタブレットや専用ソフトの導入費、情報漏えい、改ざん、不正使用などへの対策が必要。

や、対象者によって導入するタブレットや専用ソフトの導入費、情報漏えい、改ざん、不正使用などへの対策が必要。

や、対象者によって導入するタブレットや専用ソフトの導入費、情報漏えい、改ざん、不正使用などへの対策が必要。

や、対象者によって導入するタブレットや専用ソフトの導入費、情報漏えい、改ざん、不正使用などへの対策が必要。

問 大雪に対する防災対策は

答 各気象情報に対応した設置基準により災害対応を行う

議員 大雪時における道路、水道管、停電等の防災計画は。

総務課長 本町地域防災計画の中でも第2編の風水害対策編については、各種気象条件下の災害に対応した、総合的な計画となっており、大雪時の災害対策も含まれる。道路、水道管、停電時の災害対応や復旧作業についても、計画に基づいた体制の中で対策要員を配備し、防災・復旧活動を行っている。

や、対象者によって導入するタブレットや専用ソフトの導入費、情報漏えい、改ざん、不正使用などへの対策が必要。

や、対象者によって導入するタブレットや専用ソフトの導入費、情報漏えい、改ざん、不正使用などへの対策が必要。

や、対象者によって導入するタブレットや専用ソフトの導入費、情報漏えい、改ざん、不正使用などへの対策が必要。

や、対象者によって導入するタブレットや専用ソフトの導入費、情報漏えい、改ざん、不正使用などへの対策が必要。

や、対象者によって導入するタブレットや専用ソフトの導入費、情報漏えい、改ざん、不正使用などへの対策が必要。

や、対象者によって導入するタブレットや専用ソフトの導入費、情報漏えい、改ざん、不正使用などへの対策が必要。

や、対象者によって導入するタブレットや専用ソフトの導入費、情報漏えい、改ざん、不正使用などへの対策が必要。

や、対象者によって導入するタブレットや専用ソフトの導入費、情報漏えい、改ざん、不正使用などへの対策が必要。



議員 公用車の大雪に対する体制整備は。

総務課長 路面が凍結している時は安全性を考慮して、拡声器付き公用車10台分のチェーンを保有している。

議員 大雪時に公用車で出かけるときの、職員への注意喚起は。

総務課長 これまで危険が及ぶような路面凍結や積雪は年間を通じて少なく、大雪時の安全運転に特化した指導は十分に行っていない。今後は、大雪時の安全対策に

についても、積雪・凍結路面でのチェーン装着の徹底も含め、十分な注意喚起を行っている。

についても、積雪・凍結路面でのチェーン装着の徹底も含め、十分な注意喚起を行っている。

についても、積雪・凍結路面でのチェーン装着の徹底も含め、十分な注意喚起を行っている。

についても、積雪・凍結路面でのチェーン装着の徹底も含め、十分な注意喚起を行っている。

についても、積雪・凍結路面でのチェーン装着の徹底も含め、十分な注意喚起を行っている。

についても、積雪・凍結路面でのチェーン装着の徹底も含め、十分な注意喚起を行っている。

議員 通学道路の安全対策として、イノシシの鳥獣対策は。

学校教育課長 児童に対して次のことを指導している。

①近づかない。

②遠ざかる（ゆっくり、決して急に逃げない）。

③近くに民家があれば、その民家へ逃げ込む。

また、保護者に対しては連絡メールで緊急連絡をし、注意喚起している。

また、保護者に対しては連絡メールで緊急連絡をし、注意喚起している。

また、保護者に対しては連絡メールで緊急連絡をし、注意喚起している。

また、保護者に対しては連絡メールで緊急連絡をし、注意喚起している。

また、保護者に対しては連絡メールで緊急連絡をし、注意喚起している。

また、保護者に対しては連絡メールで緊急連絡をし、注意喚起している。

また、保護者に対しては連絡メールで緊急連絡をし、注意喚起している。



●北明小学校で実施された防災訓練



吉岡 英允 議員

問 本町のシニア世代の支援は

答 多種多様な講座を開催する

議員 本町のシニア

世代の支援については、サロン等で健康教育を行うなど介護予防を主とし取り組んでいるが、これからはシニア世代の生きがいづくりとして、趣味や特技を活かせるような独自の生きがいづくりの支援に取り組んでいく必要があるのではないか。

生涯学習課長 これ

まで本町の講座は、内

生涯学習課と協議し検討する。

議員 シニア世代の

生きがいづくりの一例としてガーデニングをして下さる人を募集し指導者を養成することはできないのか。

生涯学習課長 まず

問 鳥獣肉の加工施設の建設は

答 今後、関係機関と協議する

議員 野生鳥獣等の

有効活用ができるように、鳥獣被害対策実施隊を拡充しながら鳥獣肉の加工施設の建設はできないのか。

農業振興課長 捕獲

した鳥獣の処理加工施設への搬入については30分前後と制約がある。

また、さまざまな制約があるので、すぐの取組は難しいが、例年200頭程の捕獲実績があるので地域資源利用の観点から、

は、趣味の教室を開催し、その参加者の中から自主的に趣味のグループを立ち上げていただければと考える。

また、町としてのような支援が可能なか検討したい。

議員 ジビエ料理や加

工食品を、道の駅などで白石ブランドとして売り出していくことができないのか。

町長 料理の仕方など

研究していただき、肉と白石の野菜を組み合わせた料理ができればと思う。それには、町民の皆様の御協力をいただきたい。

問 Uターン農業者の施策は

答 見いだせるよう検討する

議員 本町の基本理

念は「人と大地がうるおい輝く豊穡のまち」であり、農業を基幹産業として発展したところである。農家の後継者として生まれ、後継者本人は農業をやりたいと思っているのだが、就職を決める際に農業で生計を立てていく事が難しいと農業経験者である親が判断し農業以外の

仕事についてきた人が、やはり農業をやりたいと思う定年帰農者又は、Uターン農業者に対しての施策はないのか。

町長 Uターンして

親の故郷、自分の故郷にて農業をしたいと思えることが見いだせるような施策については、今後検討してまいりたい。



●青年農業者意見発表



中村 秀子 議員

問 集中豪雨による浸水・冠水被害等の防止対策は

答 天気予報等を参考に思い切った事前排水を推進する

議員 昨年の集中豪雨の際の浸水・冠水被害の検証結果と今後の対策は。

議員 行政のリーダーシップが、事前排水の実行には不可欠であるが、今年度その仕組みをどう進めていくのか。

建設課長 町内の排水機場の能力が降雨量に及ばなかった。また、空梅雨の影響で思い切った事前排水ができなかった。地元と町で排水ポンプの増設要望書を武雄河川事務所へ出しているが回答はまだ得ていない。

建設課長 嘉瀬川ダムからの水利があり、以前とは水の環境が違ってもめぐとは減っている。集中豪雨が予想される場合には、天気予報を参考にしない。

から水路の思い切った排水を調整会議でも指導し、ゲート操作員・地元水利役員との連携で事前排水を実現したい。

議員 急傾斜地への土砂崩れ対策と住民避難のタイムラインの策定は。

建設課長 急傾斜地法が施行され、町内各所で土砂崩れ防止のコンクリート擁壁、ブロック積等の対策が県の事業によりなされた。来年度川津地区の165mが着工される。住民の避難には危険箇所を明らかにし、住民へ周知する。また、来年度までに町内すべての土砂崩れ警戒区域の指定が行われる。

総務課長 住民主導型タイムラインの作成も検討しなければならぬが、平成30年度には浸水想定や土砂災害に対応した統合型ハザードマップの作成を予定している。防

災講座や避難訓練等も行い防災意識の向上を進める。

問 小中学校の統合の計画策定は

答 今後検討委員会を立ち上げる

議員 学校区適正規模検討委員会（仮称）の立ち上げが必要ではないのか。

議員 統合学校の目指す姿は。

学校教育課長 教育委員会事務局で先進事例を研究し、町長部局との検討会を行っている。教育委員会では考え方を検討している。今後、委員会の設置を検討することになる。

教育長 子供たちが一定規模の集団になる事により切磋琢磨し、アクティブラーニングに対応できる学校。地域と共にある学校を目指す。

町長 これからの白石町を担う子供たちには最高の教育環境を提供したい。

問 平成30年度予算の特色及び町長公約の反映事項は

答 道の駅整備事業と町の活性化に関する事業

議員 平成30年度の特徴的な予算と町長公約の反映事業は。

町長 道の駅整備事業

業で町のPRを積極的に行う。また、町の活性化事業や安心安全に係る事業を行う。

●立志式



議員 監査委員からの指摘事項の反映は。

企画財政課長 当初予算案作成時に説明している。委託料については厳しく査定を行った。

下水道課長 下水接続率向上のために生活環境課と連携し、個別訪問を行い、地域の環境づくり等について説明し接続を勧める。



溝口 誠 議員

問 小中学校における手話教育と町民への手話教育の推進策は

答 総合学習の中で学んでいるが、今後更に学ぶ機会をつくりたい

議員 手話は聴覚障害者と対話するツールである。小中学校において聴覚障害を持つ児童生徒への対応は。

主任指導主事 補聴器の使用や口の動き、文字による配慮を行いなから学習できる環境づくりに努めている。

議員 義務教育時期から手話教育の必要性があると考え。将来社会の中で聴覚障害の方々と接していく機会あると思われるので、コミュニケーションがとれるためにも簡単な手話ができるようになればと思うが。



●人権フェスティバル(手話による劇・歌の様子)

主任指導主事 年間指導計画にはないが、総合学習の福祉の分野で手話の必要性を学んでいる。今後、人権集会や出前講座で、ユニバーサル教育の一環として、コミュニケーションスクール等を通じて教科のバランスをとりながら取り組みたい。

議員 町民への手話教育の推進は。長寿社会課長 手話講座が杵藤地区で開催されており、町民の方々も参加されている。今後とも、講座案内の周知をし多くの方が学べる機会を作りたい。

議員 他市町では、手話言語条例の制定がなされているところもある。今年度、本町で佐賀県障害者福祉大会が行われるが、障がい者にやさしい町づくりはどうしているのか。

町長 障がい者と共に生きる社会の実現に取り組む。手話の講座についても、誰でも気軽に参加できるような内容での開講も検討して参りたい。

問 IT化社会における行政の取り組みは各業務における利活用を図っていく

議員 IT(情報)化社会における行政の取り組みはどのようなようにされているのか。

総務課長 ホームページによる情報の発信を行い、庁舎内や公民館、小中学校等の出先機関とのネットワークを構築している。電子メール、電子掲示板、文書管理等の事務を行いコスト軽減に努めており、セキュリティ対策も進めている。

議員 情報社会の中

で技術革新が進んでいる。「モノのインターネット」ロボット、人口知能、ビッグデータを活用する時代となり、これらをどう行政に活かしていくのか。

総務課長 全国31の自治体で、AI(人口知能)を活用した住民サービスの実証実験が始められた。その経過を見ながら、今後の利活用についてはセキュリティ等も考慮しながら検討したい。



友田 香将雄 議員

問 道の駅で販売する商品は「オール白石産」でやれるのか

答 町外産の物についても取り扱いを想定している

議員 有明海沿岸道路の開通は遅れる公算が大きいのでは。

建設課長 新年度から軟弱地盤の新たな工法で工事されることになり、どれくらい遅れるのか予想がつかない。

議員 道の駅の運営母体の進捗状況は。

産業創生課長 まずは出荷者でつくる出荷者協議会の設立を行うべく進めている。

その後に運営母体である新組織の設立を計画している。

議員 運営母体が未定のまま、出荷者を募っている状況なので、出荷を検討している事業者から不安が出ている。早急に運営母体を決めるべきでは。

産業創生課長 出荷者の募集をまず行いたい。不安の声については説明会の時に説明をしていく。



●白石町観光モニターツアー

議員 道の駅での販売品は「オール白石産」との事だが、本当にそれだけでやって行けるのか。また、手芸品・加工品などの材料が町内に無いものについては販売できないのか。

産業創生課長 現在の素案では販売できない。しかし、出荷者協議会での判断になるが、端境期及び出荷が少ないときなどは町外産の物についても取り扱う事を想定している。

問 「子育て世代包括支援センター」の早急な整備を出来るだけ早く整備出来るよう検討する

議員 平成27年度に策定された「白石まち・ひと・しごと創生総合戦略」では「子育て包括支援センター」を整備するよう示されているが現在の状況は。

保健福祉課長 先進市町村の事例を参考にしながら、センターの内容・場所などを

保健福祉課長 出来るだけ早く整備出来るよう検討を続ける。

問 小中学校の「主権者教育」の推進を

答 日常の教育課程の中で取り扱う

議員 文部科学省では、「主権者教育」が推進されている。社会問題において主体的に取り組める人材を育成する観点から、全国の小中学校にて推進されているが、町内での取組現状と今後の取り組み計画は。

主任指導主事 現状、

「主権者教育」というテーマで取り組んでいる学校は無いが、主に、社会科で行っている。「主権者教育」には、中学校の生徒会活動等の体験学習が有効と考える。今後も日常の教育課程の中で適切に取り扱っていく。



草場 祥則 議員

問 「歌垣の里」を活かしたまちづくりは

答 文化・スポーツの両面で取り組んでいる

議員 「歌垣の里」を活かしたまちづくりの現状は。

生涯学習課長

日本三大歌垣の一つである杵島山を有する本町は、浪漫溢れる「歌垣の里・白石」として全国的にPRしている。毎年4月には歌垣春まつりを開催。また、互いの思いを歌で詠み交わした「歌垣」に因み、「愛」をテーマと

した「三十一文字コンテスト」を平成12年度から始めている。今年度で18回目を数え全国から多数の投稿をいただいている。スポーツ面でも、歌垣の郷ロードレース大会を平成8年から開催しており、文化・スポーツの両面で「歌垣の里・白石」を広く知っていたらどうよう取り組んでいる。これから

は、町内の方へも「歌垣」の周知を一層進めていく。具体的には、「三十一文字コンテスト」入賞作品を公共施設や小中学校に掲示するなどPR方法を検討していく。

生涯学習課長 投稿者数は2,229人で、投稿短歌数は3,560首であった。全国47都道府県の方からいただいた。

議員 「三十一文字」

問 杵島山周辺の観光施設整備は

答 観光の重要拠点と位置付けている

議員 観光ルートとして杵島山周辺を整備するべきと思うが。

産業創生課長 歌垣公園、縫の池、稲佐神社など観光の重要

な施設を整備するべきと思うが。



●稲佐の森を育てる会

は。

産業創生課長 多額の費用がかかるので、慎重に検討する。



問 町の発展のために道路のネットワーク化を

答 期成会の中で積極的に陳情を行う

議員

将来の本町の発展を考えたときに、特に道路のネットワーク化は重要と考える。唐津、伊万里、島原半島の道路網づくりに比べ、太良、鹿島、白石の道路ネットワークは貧弱である。有明海沿岸道路においても福岡県側は国営、佐賀県側は県営である。

町長 道路建設について

議員 農産物の輸出を考えたときに、伊万里港に直結する道路づくりが必要では。

町長 今後、新たな広域交通ネットワークについて関係市町と連携し模索していく。



大串 武次 議員

問 ふるさと納税の活用と町への貢献状況は

答 主に保育園・小中学校補助、しろいし農業塾などに充てている

議員 寄附金の状況

について、県内他市町と比較して本町の現状はどうなっているのか。

産業創生課長 平成

29年度分は、1月末現在で、県内20市町の中で、件数「11位」金額は「14位」となっている。

議員 本町を寄附先

に選んでくださった方々の、寄附の理由について調査はされているのか。

産業創生課長 寄附

について本町を選ん

でいただいた理由の調査は行っていない。ただ多くの方は、本町特産物である玉葱・蓮根・苺等を返礼品としており、白石町産ということと選んでいただいていると考える。

議員 ふるさと納税制

度について、制度の推進・広報はどうなされているのか。

産業創生課長 イン

ターネットサイトによ

る広告及び主に首都圏において新聞広告を行

っている。本年度からサイトを1サイトから6サイトに増やした。

議員 ふるさと寄附

金の配分結果と来年度の事業計画は。

企画財政課長 それ

ぞれの事業に充てる額は、寄附された方々の選ばれた項目ごとの件数や金額の割合で、各事業へ当てる金額を振り分けている。

議員 「道の駅しろいし

を活かしたまちづくり」には、道の駅のPR活動を行う「がばいよかとこ発信事業」に500万円

議員 「活気と魅力ある

豊かなまちづくり」には、「しろいし農業塾」、「住民協働・道路等環境整備事業費」など8事業に3,350万円

議員 「子どもたちが健

やかに育つまちづくり」には、「保育園運営費」、「小6・中3給食費無償化にかかる経費」に1億円

④ 「高齢者や障がい者(児)にやさしいまちづくり」には、「障害児通所支援給付費」、「食の自立支援事業(配食サービス)」などで2,300万円

このほか、「町長おまかせ」の項目に、子育て支援と防災対策の6事業、8,850万円を充てることとしている。

以上、平成30年度当初予算では、22事業に2億5千万円を充て、「道の駅しろいしを活かしたまちづくり」に充当する分を補正する予定であるので、平成30年度の事業見込としては、23事業の3億3千万円を予定している。

問 玉葱べと病対策に観測機器の導入を

答 システムを研究・検討されている県の方針に合わせていきたい

議員 今年は、雨や雪

が多く、玉葱のべと病が多発しやすい条件と思われるが、その対策状況は。

農業振興課長 罹病

株の抜き取り処分、額縁明渠による表面排水の徹底、定期的薬剤防除の実施等、確実に実践することが重要。

議員 海外のIT企

業が提供するシステムでは、圃場に設置する観測機器で温湿度や降雨量などのデータを収集。

提携する気象予報会社から10日先までの天気予報を予測し、観測データと併せてべと病に感染しやすい時期などをウェブサイトで

で示すこととなっている。

なお、生育ステージなどを入力すれば、感染リスクの度合いに応じ、予防防除や治療剤、特効薬を指示してくれる。こうした機器を導入しては。

町長 県においても

システムを研究検討されているので、導入経費も考慮し、県の方針に合わせていきたい。



●白石町農業振興大会



内野 さよ子 議員

問 町税等の収納率向上対策は

答 滞納処分により効果を上げている

議員 納税者への公平性から滞納者の減少対策の取り組み状況は。

収納対策専門監 納期限後20日以内に督促状を発行し、毎年新たな滞納者を出さないように力を入れている。

議員 ファイナンシャルプランナー事業の効果は。

収納対策専門監 毎月第2火曜日に役場で相談を実施している。今年度は500万円ほどの効果があった。以前行っていた夜間訪問などは実施していない。

議員 私債権である町営住宅使用料や学校給食費などの連携は。

税務課長 平成28年

度から公金一元化協議を始めている。町営住宅使用料は、ほぼ完納である。給食費については、児童手当の支給に合わせて承諾を得て徴収し効果を上げている。

議員 平成30年度から国民健康保険制度が県単位で広域化されるが、制度が変更される周知はどうされるのか。

保険専門監 制度改革については、チラシや広報白石などにより行っている。

議員 佐賀県は医療費も高い。町や県全体でどのように取り組んでいるのか。

住民課長 医療費の適正化については、

- ① 特定検診・保健指導の充実
- ② ジェネリック医薬品の推奨
- ③ 重複服薬者等の

減少

以上の3点に力をいれる。レセプト点検は全市町が県国保連合

問 特定事業主行動計画の達成率は

答 女性管理職の選任に課題もある

議員 第2次白石町男女共同参画プランによる審議会・委員会の取り組み状況は。

白石創生推進専門監

2020年度までに、女性の登用率の目標を30%としている。現在は21審議会・委員会で254人中女性78人で30.7%である。

議員 県内では、40%を目指している市町もある。学校給食運営委員会や防災会議なども視点を变えて40%を目指してほしい。

白石創生推進専門監 各部署に働きかけて目指していきたい。

議員 白石町特定事業主行動計画の目標値

会に委託し、専任スタッフにより行われることとなっている。

の達成率と分析は。

副町長 平成29年4月現在における男性の育児休業取得率は0（目標値100%）、男性育児参加休暇取得率は50%（目標値50%）、女性育児休業率は100%である。

議員 女性も採用時は管理職を目指して

いたはずである。結婚、出産、育児、介護等によりハードルが高くなり、管理職を目指す確率が男性よりかなり低くなる。分析等を行い、管理職を女性にも広げ、達成感など多くの経験をさせていいただきたい。

町長 適材適所を目指して行っていくたい。



●町長と未来(ゆめ)トーク

町職員数の率は、男性57%、女性43%。係長以上では男性は84%、女性は16%。課長職では、男性は96%、女性は4%で25人中1人である。女性を取り巻く家庭環境や職場環境の整備は課題である。

問 行政経営プランの目的とポイントは

答 第2次総合計画を実施するための
指針とするもの

議員 白石町行政経

営プランの策定が予定
されているが、その目
的とポイントは。

白石創生推進専門監

様々な行政課題に
対応し町行政を身の
丈に合った維持可能な
ものとし、第2次総合

計画を実現するため
の指針とするもので
ある。

議員 普通交付税の

合併算定替えが平成
32年からなくなるこ

とから予算規模を縮小
せざるを得ないので
は。

企画財政課長 相当程

度の予算縮小は必要と
なるが、事業を進める
ためには、基金の取り
崩しや地方債に頼るこ
ととなる。

議員 合併特例債の発

行期限が5年再延長さ
れるようであるが。

企画財政課長 今後、

大型事業を控えてお
り、再延長はありがた

い。

議員 行政経営は、ス

クラップ・アンド・ビ
ルドを基本に事務事業
の合理化と見直しを図
るべきでは。

副町長 民間委託や

創意工夫による事務改
善、情報通信技術の導

問 水道料金の引き下げはできないのか

答 引き下げる環境にはない

議員 平成32年度に

佐賀西部広域水道事
業が統合される案を
示されているが、目的
と効果は。

水道課長 人件費等

の削減や施設整備に
国の交付金が受けら
れ、水道料金の抑制に
もつながら。統合後40
年間で約48億円の効
果がある。

議員 配水管等の布

設替えが計画的に実
施されているが、統合
により影響はないの

入を促進していく。

議員 職員の適正化

計画も位置づけられて
いるが。

副町長 平成34年度

に255名体制を実現
するために、行政改革
推進本部で協議を進
めている。

か。

水道課長 国による

財政支援が10年間受
けられることで、整備
が促進されることが
期待される。

議員 構成団体の中

でも本町は2番目に
高い水道料金となつて
いるが、その要因は。

水道課長 自己水源

を持たない本町は受
水費の占める割合が
高く、維持補修費が高
いことが要因である。

議員 預金等の資産

が他の構成団体と比
較しても大きな差が
ある。統合前に水道料
金を引き下げること
はできないか。

水道課長 水道料金

の改定は他市町から
の理解が難しい。ま
た、水道経営の各種指
標で判断すると現在
は水道料金を引き下
げる環境にない。

町長 統合前までに

整備しなければなら
ない遊休資産の処分

や優先的かつ早急に
整備を必要とするも
のに資産を使ってい
きたい。

議員 水を大量に使

用されている事業所
には、優遇措置が定め
てあるが、統合により
変わることがあるの
か。

町長 新たな水道料

金の基準が協議され
ることとなるが、変わ
ることがないように
申ししていきたい。



●白石水源池

※スクラップ・アンド・ビルドとは
行政機構などで、非能率的な設備や組織を破棄して、
新しい能率的なものに立て直すこと。

総務常任委員会

国民健康保険の広域化に伴う影響を調査

2月13日、国民健康保険制度の広域化に伴う本町一般会計への影響について調査を行った。住民課の担当職員から説明を受け、これまでは慢性的に赤字運営であった国保特別会計へ一般会計から補填を続けていたが、平成30年度から県単位での事業広域化することに伴い、基本的には赤字が発生しない仕組みとなると報告された。

これからの国民皆保険制度が維持できるよう、これまで以上に医療費の節減に向けた取り組みが重要である。総務委員会では、医療や介護に係る公費負担が増大していく中において、まちづくりに必要な財源を安定的に確保していくような研究を深めていくことを確認した。



●住民課担当職員から説明を受ける

産業建設常任委員会

農家経営所得安定対策制度について意見交換

12月6日、農業振興課の担当職員から農家経営所得安定対策制度について説明を受けた。平成30年度から米の生産調整が見直されることや米の直接支払交付金が廃止されることなど、その内容について詳しく説明を求めた。これからは、生産者や集荷業者等が中心となり需要に応じた生産に取り組むこととされ、水田の有効活用により自給率を高めるため、米粉用米や飼料用米の生産・利用の拡大に取り組む必要がある。稲作経営は厳しくなるが、何よりも若い人たちが農業経営を志している

ような支援策を、産業建設常任委員会では町当局に提案すべく研究を深めていくことを確認した。



●農業振興課との意見交換

議会全員協議会

「タブレット」を活用した議会運営手法を学ぶ

1月15日、福岡県嘉麻市議会を視察し「ペーパーレス会議システム」の活用について議員全員が研修を受けた。市がペーパーレス化に積極的であったため、議会側もスムーズに導入が進んだとのことであった。議員の会議すべてにおいてシステムを利用され紙は使用されないため、印刷費、郵送費、職員の労力軽減が図られ、行財政改革にも大きく寄与されていることが報告された。

本町議会も、行財政改革と災害時の連絡体制の面からも導入を急ぐべく、町当局と研究を重ねていくこととした。



●嘉麻市議会から説明を受ける

新人議員研修



●白石平野揚水機場で担当職員から説明を受ける

1月25日、新人議員の研修として嘉瀬川ダムからの農業用水の配水の仕組みと施設の状況について視察を行った。嘉瀬川ダム、川上頭首工、白石平野揚水機場などの施設について担当職員から詳細に説明を受けた。この事業によって、水源に乏しい本町に安定的に農業用水が供給されることになり、農業経営の安定化が図られている状況が報告された。灌漑時期には、24時間にわたり配水管理をされている土地改良区の職員に敬意を表します。

視察来町(宮崎県三股町・山口県防府市)



1月29日、宮崎県三股町議会運営委員会から議員など7名が訪問され、本町の議会基本条例、議会改革、出前講座の手法について研修されました。



1月31日、山口県防府市議会から議員5名が訪問され、本町の「しろいし農業塾」「地域おこし協力隊」事業の取り組み状況について研修されました。

最近の主な議員活動 1月～3月

月	日	曜	
1	4	木	成人式
	5	金	県内関係機関への新年挨拶回り
	6	土	消防団出初式
	9	火	立志式
	10	水	都道府県駅伝選手激励会
	12	金	認知症サポーター養成講座 商工会役員会・新年あいさつ
	15	月	町功労者表彰式 議会全員協議会研修(嘉麻市)
	16	火	文教厚生委員 自主研修
	19	金	県町村議長局長合同会議 国保運営委員会
	20	土	八平入植祭
	24	水	同和問題地区別研修講座
	25	木	新人議員研修(嘉瀬川ダム他)
	26	金	議員全員協議会国保新制度勉強会
	29	月	宮崎県三股町から視察
	31	水	山口県防府市から視察
2	1	木	障害福祉計画策定委員会 国保運営協議会
	4	日	人権フェスティバル
	6	火	産業建設常任委員会所管事務調査 政経セミナー
	8	木	佐賀県後期高齢者医療広域連合議案勉強会
	12	月	杵島郡青少年育成剣道大会
	13	火	総務常任委員会所管事務調査 支えあい地域座談会(白石地域)
			杵藤地区広域市町村圏組合議案勉強会
	14	水	高齢者福祉計画策定委員会 支えあい地域座談会(福富地域)
	15	木	西佐賀水度企業団全員協議会 行財政調査委員会
	16	金	後期高齢者医療広域連合議会 杵藤地区4町議員協議会

月	日	曜	
2	16	金	支えあい地域座談会(有明地域)
	19	月	国保運営委員会
	20	火	西佐賀水度企業団2月定例議会
	21	水	県町村議会議長定期総会 有明海沿岸道路建設促進協議会 議会運営委員会
	22	木	杵東地区衛生処理場組合議会 杵藤地区広域市町村圏組合議会
	23	金	町農業振興大会 町文化振興財団評議委員会
	26	月	男女共同参画等に関する懇話会 観光推進協議会
	6	火	3月議会開会
	7	水	一般質問
	8	木	一般質問
3	9	金	中学校卒業式
	10	土	褒章祝賀会
	11	日	歌垣の郷ロードレース大会
	12	月	一般質問
	13	火	議案審議
	14	水	議案審議
	15	木	議案審議
	16	金	小学校卒業式
	17	土	認定こども園有明幼稚園卒園式
	19	月	3月議会閉会
	23	金	福富保育園卒園式
	24	土	福田・六角・ふたば・わかば・須古保育園卒園式 松末小学校門柱返還式(朝倉市)
	25	日	東京福富会
	26	月	食育推進協議会 行財政調査委員会
	27	火	あかり・みのり保育園卒園式 杵藤広域市町村圏組合議会
	29	木	社会福祉協議会理事会



●県国民健康保険課の職員から説明を受ける

杵藤地区議員研修会

2月16日、杵藤地区町村議長会の主催により議員研修会が開催された。県国民健康保険課から講師を招き、国民健康保険制度改革の概要について詳細に説明を受けた。本年4月から広域化されることにより県が財政運営の責任主体となることや、佐賀県は1人当たり医療費が全国ワーストワンであることなどが報告された。制度を県単位化のスケールメリットとして事務の効率化が図られ、市町のデータを活用した重複服薬対策や糖尿病の重症化への取り組みにより医療費の適正化の効果が期待されることがわかった。国民皆保険制度を将来にわたって維持できるよう、また一人ひとりが健康を意識して生活をおくるよう周知に努めていきたい。

議会でも出前講座を開催しています。 相談はお近くの議員まで

本町議会は、議会活動をお知らせするために、議員が皆さんの会合へ直接出向いてお話をしています。開催日の1箇月前までに議会事務局へ申込書を提出ください。



友田 香将雄
(駅通)



重富 邦夫
(上区)



中村 秀子
(廻里)



定松 弘介
(戸ヶ里)



川崎 一平
(八の割)



前田 弘次郎
(深浦東分)



溝口 誠
(郷移西)



大串 武次
(西郷)



吉岡 英允
(北川)



片渕 彰
(原田)



草場 祥則
(下区)



井崎 好信
(西南)



内野 さよ子
(馬田)



西山 清則
(六府方)



溝上 良夫
(上廿治)



片渕 栄二郎
(沖清)

要望書を受け取りました 6件

●「共同労働の共同組合法(仮称)の速やかな制定を求める意見書に関する陳情

提出者 日本労働者協同組合連合会センター事業団
九州沖縄事業本部長 星平順子

●平成30年度白石町商工業振興対策費補助金の要望

提出者 白石町商工会会長 門田憲治

●森林組合育成助成金予算措置に関する陳情

提出者 武雄杵島森林組合
代表理事組合長 杉原豊喜

●福吉区児童公園内のプール跡地を利用した防火水槽の設置要望

提出者 福吉区長 田中誠一

●須古城の国史跡指定に向けての要望

提出者 須古歴史観光振興会 会長 山口 順

●町内業者への工事発注の取り扱いについての要望

提出者 白石町商工会建設工業部会長 野中正博



●朝倉市への門柱返還出発式

議会戦隊 炊飯ジャー

作:Sachiemon

第15話「代表質問」



※代表質問とは、会派などを代表して質問をすること。

編集後記

3月11日東日本大震災から7年の月日が経ったが、テレビから流れる映像は現実のものとは思えなかった。災害はいつ来るのかもしれないが、それに備えるのがこの災害を無駄にしない事だ。当時勤務していた学校では、生徒会長がこの窮状に役立つためには、余ったお金ではなく自分の痛みを伴う額の募金をしようと呼びかけ、100余名の生徒から数十万円の募金が集まった。このときの生徒たちも、もう立派な大人になっている。いつまでも他人の痛みがわかる人間であってくれることを信じている。

(ひでこ)



しずいしみのりちゃん



白石町議会だより/第53号

発行/白石町議会 佐賀県杵島郡白石町大字福田1247-1

TEL 0952-84-7126 FAX 0952-84-6611

編集/議会広報特別委員会

責任者/白石町議会議長 片淵栄二郎

編集委員/委員長 前田弘次郎

副委員長 友田香将雄

委員 川崎 一平

〃 定松 弘介

〃 中村 秀子

〃 重富 邦夫